

(様式)

令和3年度ソフトボール部の指導方針等について

令和3年4月28日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	吉弘 惇也	金澤 洋之	本校8年目	週5回
副顧問	村田 優子			
副顧問	藤井 浩太郎			

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会の具体的到達目標
都大会ベスト8以上、公立高校大会ベスト4以上、関東公立大会出場
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
地域の中学校との交流を図るとともに、大会補助にも積極的に参加する。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は、原則週に6日間とし、練習時間は、平日2時間、休日4時間、早朝練習1時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画
月に1回程度、競技力を高めるため強豪校や他県のチームとも練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
メンタルトレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶資料を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介
	5	春季大会兼関東大会都予選 部活動保護者会（指導方針等を説明）
	6	東京総体兼インターハイ都予選
	7	夏季合宿健康診断・保護者説明会
	8	夏季合宿（長野県諏訪市 4泊5日） 中学生部活動体験入部 公立選手権大会 西東京大会
2 学期	9	公立新人戦大会
	10	新人大会兼全国選抜都予選
	11	練習試合・合同練習等
	12	練習試合・合同練習等
3 学期	1	練習試合・合同練習等
	2	練習試合・合同練習等
	3	関東公立大会（江戸川区 2泊3日）

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。